令和2年度 第11回富里市教育委員会定例会議 会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 令和2年12月22日(火)
開会 午後1時
閉会 午後2時35分
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 教 育 長 吉 野 光 好
教育長職務代理者 森 田 惠 子
委 員 會 田 直 子
委 員 田 口 明
委 員 川 口 泰 弘
- 4 出席職員 教 育 次 長 金 杉 章 子
教 育 総 務 課 長 中 津 義 孝
参事兼学校教育課長 小 川 英 昭
学校給食センター所長 伊 藤 健 一
生涯学習課長 飯 田 之 義
図 書 館 長 林 田 利 之
- 5 事務局職員 教 育 総 務 課 小 川 正 久

令和3年1月26日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 開会宣言

【教育長】開会前に一点報告をさせていただきます。市内小学校児童1名が新型コロナウイルス感染症の陽性となりました。考えられる対策を講じた上で、本市独自のPCR検査をその学級全員に実施したところ、陰性の結果となり、一安心したところでございます。このような状況でございますので、今後もまた感染がいつ発生するかわかりません。引き続きとりうる予防対策をしっかりとしてまいりたいと考えております。御理解のほどよろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから令和2年度第11回富里市教育委員会定例会議を開会します。

本日の会議は、議案3件、協議事項3件、報告事項7件、その他の内容となります。よろしくお願いいたします。

2 前回会議録の承認

令和2年度第10回定例会議会議録承認

(署名人：吉野教育長、會田委員)

3 教育長職務報告

【教育長】次に、教育長報告を行います。

1月20日、富里ロータリークラブから成人式用マウスシールドの寄贈が市長室でございました。

24日、富里市定例表彰式が開催され、前副市長をはじめ11名の方に表彰が行われました。

25日、午前中に第1回富里市社会教育委員会議、午後には第1回富里市文化財審議会会議が開催されました。

26日、都市対抗野球大会で本市代表の一回戦が行われ、応援にまいりました。結果は、惜しくも0対1の敗戦でございました。

27日は、午前に市議会定例会に伴う記者会見、午後には第3回富里市教育支援委員会に出席いたしました。

30日、第8回校長会議が浩養小学校で開催され、出席いたしました。

12月には、1日に市議会定例会が開会し、7日、8日、11日に一般質問が行われ、18日に最終日を迎え閉会となりました。

また6日には、皆様にも御出席をいただきました旧岩崎家末廣別邸の一般公開がございました。

21日、本市の実施計画策定委員会が開催されました。こちらは予算事業に係る会議となります。本日の定例会議議案の「令和3年度富

里市教育委員会歳入歳出予算に係る意見について」に関する事業計画も審議されました。

今後の予定につきましては、12月24日にスイカロードレース大会実行委員会事務局会議がございます。また、年明けの令和3年1月10日に富里市成人式が予定されていますが、今後の状況によりましては、変更等も考えられます。12日には、第4回印旛地区教育長会議が開催されます。21日には、皆様にもお出でいただきます第2回教育長・教育委員研修会が市原市市民会館で予定されています。そして26日には、第12回富里市教育委員会定例会議を予定しますので、よろしくお願いいたします。

4 教育委員報告

【教育長】次に、教育委員報告に移ります。ございましたらお願いいたします。

【委員】11月17日に浩養小学校で行われました学校教育研究会の第3回校内授業研究会、道徳科学習指導の参観報告をさせていただきます。

当日は、1年生、5年生の道徳の授業を参観させていただきました。道徳は、他の教科と比べますと正解というものより最善の答えが求められるのではないかと考えます。また、最善の答えを求める過程も重要であると考えます。

1年生は「相手を思いやる気持ち、行動を」、5年生は「真の友情とは」を題材としたものでした。道徳だけではないでしょうが、児童のもの見方、考え方の形成に大きく影響する授業の1つだと思います。1年生、5年生の児童たちも活発に思い思いの意見を出し、また、他の意見を聞きながら進められていく授業はすばらしいと思いました。少数派の意見も取り込みながら求められる姿に向かっていくことは、容易ではないでしょうが、今後も大事な教科として位置づけられる必要があると思いました。

【委員】11月17日に富里北中学校で行われた富里市学校教育研究会の授業研究会に出席しました。総合的な学習の時間を使った授業で、さまざまな職場で働く人たちから直接話を聞いて、自らの生き方について考える機会を持つことを目的として行われました。小・中連携の取組を活かして日吉台小学校の6年生も参加していました。

警察官、看護師、美容師、料理長、サッカークラブチームのコーチや成田ケーブルテレビ、ペットショップで働く方々が来られて、仕事をし、苦勞したこと、やりがいを感じる事など、実体験を交えてお話しして

いました。その夢に向かおうとしている生徒たちに、今できることは何かを伝えていました。児童・生徒たちも食い入るように話を聞いていました。また、芸能活動や会社を経営する実業家のトークショーもあり、児童・生徒たちの表情が生き生きと輝いていました。真剣に仕事に向き合う大人を見て、子供たちは進む道を考える学習になったと思います。

続きまして、12月6日に旧岩崎家末廣別邸の一般公開を迎え、教育委員として出席しました。コロナ禍の影響で予定されていたイベントは中止となりましたが、天候に恵まれ多くの方に足を運んでいただきました。

今回、旧岩崎家末廣別邸の一般公開を迎えることができ、本当にうれしく思います。公開に向けて関わってこられた生涯学習課、ボランティアの方をはじめ関係者の方々に本当に感謝しております。この貴重な旧岩崎家末廣別邸を子供たちの学習に生かし、地域に根付かせて、富里に愛着を持つ方が増えていけばと思います。

【委員】 11月17日、学校教育研究会授業研究会で富里小学校の公開研究会に参加しました。富里小学校では、「自己の生き方を考え、共によりよく生きようとする児童の育成」を研究テーマとし、11学級が道徳の授業を展開してくださいました。授業の初めに目当てがしっかり提示され、1時間の学習の中でどんなことを考えていけばよいのかよくわかりました。また、発問がよく吟味されていて、中心発問の場面では、役割演技などを取り入れ主人公の思いに共感したり、自分と重ねて考えたりしながら価値に迫ることで、よりよい生き方につなげていこうとしていました。私は、道徳の授業で、どのように評価するかというところに非常に興味があったので、そのところを見たかったのですが、なかなか時間の関係でその場面に直面できませんでした。しかし、指導案を拝見しますと、ワークシートや道徳ノート、それから、子供の発表を基に評価していくというようなことが記載されていました。先生方が1時間の授業の中でしっかりと子供たちの様子を捉えてくださったり、捉えていこうとしていることがよくわかりました。それだけでなく、今後の子供たちの生活の中で、子供たちの生き方としてどんなふうに変容していくのか、しっかり見ていくことも大切なのではないかと思いました。

続きまして、12月12日、富里市青少年相談員課題研修会に教育委員として出席しました。こちらでは、「心身ともに健康な「とみっこ」の育成に向けて子供たちの心に寄り添った支援」をテーマに、本市学校専門指導員の先生から、そして「遊びを通してコミュニケーションを図ろう」をテーマに酒々井町立大室台小学校の校長先生から御講演をいた

できました。学校専門指導員の先生からは、日々の教育相談の経験から子供に寄り添った支援をしていくためには、子供の心を開き、子供の心を受け止めることが大切であるという御指導をいただきました。子供の心を開く5つの技法というのも教えていただきました。大室台小学校の校長先生からは、自然環境を活かし子供と一緒に活動したたくさんの実践が紹介されました。遊びを通して育まれるものはたくさんあります。身体性、感性、創造性、社会性、挑戦力などいろいろありますが、子供自身が遊び、その中で発見し、体験し成長していく様子が、先生の実践からよくわかりました。遊びが持つ力を信頼し本気で子供と遊んでやること、遊びを通して人間関係を築いていくことが大切だということの御指導をいただきました。青少年相談員の皆様には、いろいろなところで御支援をいただいております、今回は、コロナ禍でいろいろなイベントや計画が中止となっておりますが、学校の環境整備などでもたくさん助けていただき、今回のように課題について検証してくださっていることなど、とてもありがたいと思えました。研修に参加させていただき、改めて私たち大人は、子供たちが心を開いて話しができるように、そして相談できるような関係をしっかり築いていかなければならないと感じてまいりました。

【教育長】ありがとうございました。その他、いかがでしょうか。

(ない旨の声あり)

【教育長】他にないようですので、教育委員報告を終わります。

5 議案

【教育長】次に、議案に入ります。議案第1号令和3年度富里市教育委員会の歳入歳出予算に係る意見について、議題とします。事務局の説明を求めます。

【教育総務課長】資料は2ページからとなります。令和3年度の教育費の予算編成に当たり、教育委員会に係る予算への配慮を求める意見書を市長に提出することについて、富里市教育委員会行政組織規則第8条第3号の規定により議決を求めるものです。提出する鑑文の案は資料4ページとなります。

資料6ページをお願いします。令和2年度第10回教育委員会定例会議で協議いたしました後、12月21日時点で修正のあった事業について、見え消しで内容を記載しております。この後、各課等の長から軽微なものを除きまして、修正の内容について説明いたします。

それでは、教育総務課から修正となった事業を説明いたします。6ページの最上段の既存不適格事項対応事業（小学校）を御覧ください。防火シャッター及び小荷物専用昇降機の改修工事に係る費用について、過去実績の概算費用による額を実施設計後の見積額へ見直したことにより、733万5,000円減額の3,437万円となりました。教育総務課で修正した事業は以上となります。

【参事兼学校教育課長】資料6ページの上から2段目、教育指導事業を御覧ください。こちらにつきましては、校務支援システムの導入の時期を調整するということから減額となっております。来年度には、小学校1年生から3年生のタブレット端末の導入等も予定されております。併せて、本来であれば小・中学校共通の校務支援システムを導入することが理想的でございますが、現状、各学校では、それぞれ独自の校務支援のシステムは使用しておりますので、しばらくその形で対応していくという判断でございます。

次に、最下段の小学校教育振興事業でございます。こちらの減額につきましては、水泳指導の委託料のうちバス代の精査による減額でございます。来年度も富里第一小学校、浩養小学校、根木名小学校の水泳指導について、外部委託を予定しておりますが、その際の送迎バス代に係るものでございます。学校教育課からは以上となります。

【生涯学習課】資料8ページをお願いします。文化財事業でございます。こちらにつきましては、令和2年度に富里市立図書館において文化財の展示をするということから、現在、作業を行っているところですが、その関係備品について、令和3年度から前倒して調達できたものがありましたので、その分の減額修正をしたところでございます。

続きまして、旧岩崎家末廣別邸保存活用事業の増額でございますが、こちらにつきましては、一般公開に当たりまして、幼児対応のAEDを設置するため予算の増額をしたものでございます。生涯学習課からは以上となります。

【図書館長】資料は8ページです。下から2段目の図書館施設管理事業につきまして、図書館は建設されて18年経過していることから、施設の老朽化が進んでおります。こちらを適正に管理するため、この事業で修繕を計画的に行っておりますが、今回、修繕の順番等を見直しまして令和3年度の事業費について、43万円減額し、3,343万7,000円に修正したところでございます。図書館からは以上でございます。

【教育総務課長】各課等の予算ヒアリングが終わりまして、今後、事業内容の精査・査定が行われてまいります。令和3年度歳入歳出予算の編

成に当たり、教育施策の実現に向け、特段の御配慮と事業の推進に必要な経費の確保について、市長に理解を求める意見を提出することについて、御審議のほどお願いいたします。

【教育長】事務局から説明がありました。質疑等がございましたらお願いいたします。

【委員】先ほど参事兼学校教育課長から御説明をいただきましたが、やはり限られた財源の中で、令和3年度は、校務のICT化の推進について断念するということでしたが、既に導入している市町が多くなっているということを伺っています。本市では、それぞれ学校独自の校務支援ソフトウェアがあるというお話でしたが、人事異動等もあることから先生方の負担を考えると共通の校務支援システムが必要になってくるのではないかと思います。そこで、やはり校務のICT化に向けて実現できるよう取り組んでいただきたいというふうに考えております。北総教育事務所の管内では、どのようなソフトウェアが多く入っているのかわかりませんが、できるだけ同じような共通したものを入れていったらいいのではないかと考えますので、よろしくお願いいたします。

【参事兼学校教育課長】印旛管内、多くの市町が校務支援システムを導入しています。ただ、それぞれ市町独自の支援システムなので共通したものはございません。富里市が導入するに当たりましては、各市町のシステムの状況等を確認し、よりよく使いやすいシステムを導入していくよう検討してまいりたいと思います。

【教育長】よろしいでしょうか。その他、ございますでしょうか。

(ない旨の声あり)

【教育長】他にないようですので、採決します。議案第1号について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

【教育長】異議ないものと認め、議案第1号は原案のとおり可決することといたします。

【教育長】次に、議案第2号富里市学校職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の原案について、議題とします。事務局の説明を求めます。

【参事兼学校教育課長】資料は9ページからとなります。先月の教育委員会定例会議で協議をいただいたところでございますが、本案は、地方公務員法第31条の規定によるサービスの宣誓について、県費負担教職員の位置づけを明確化するため所要の改正を行うものでございます。資料10ページを御覧ください。まずは、題名を学校職員という表現から、県費

負担教職員に改めるほか、条文中の、「職員」を「富里市の県費負担教職員」に、「任命権者」を「富里市教育委員会」に改める等、用語整理も併せて行うものでございます。なお、13ページから15ページにかけて新旧対照表を掲載しております。御審議のほどよろしくお願いたします。

【教育長】事務局の説明が終わりました。質疑等がございましたらお願いいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】特にないようですので、採決に移ります。議案第2号について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

(異議ない旨の声あり)

【教育長】異議ないものと認め、議案第2号は原案のとおり可決することといたします。

【教育長】次に、議案第3号富里市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について、議題といたします。事務局の説明を求めます。

【参事兼学校教育課長】資料は16ページからとなります。富里市いじめ問題調査委員会委員のうち1名が本年3月末に退任したことから、今回、新たに富里市いじめ問題調査委員会委員の1名を委嘱したく議決を求めらるものでございます。本年3月までは、北総教育事務所のスクールソーシャルワーカーでいらっしゃった先生が委員でございました。こちらの先生がスクールソーシャルワーカーをお辞めになりましたので、その後任の委員を検討していたところです。そして、後任の委員につきまして、17ページにあるとおり同じく北総教育事務所の千葉県スクールソーシャルワーカーの先生を考えております。なお、後任の委員の任期につきましては、本日の議決後から令和3年11月30日までとなります。教育の知識、経験を豊富に有する方への委嘱案でございますので、よろしく御審議のほどお願いいたします。

【教育長】事務局の説明が終わりました。質疑等がございましたらお願いいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】特にないようですので、採決に移ります。議案第3号について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。

(異議ない旨の声あり)

【教育長】異議ないものと認め、議案第3号は原案のとおり可決することといたします。

6 協議事項

【教育長】次に、協議事項に入ります。協議事項（１）富里市歴史公園条例の原案について、事務局の説明を求めます。

【生涯学習課長】本案につきましては、旧岩崎家末廣別邸に関しまして、これまで春と秋の特別公開という方法で一般の方に御覧いただいていたところがございます。本年12月6日から敷地内の一部を一般公開しておりますが、令和3年4月以降、敷地内を全面公開するべく整備をしていく上で、設置及び管理について、地方自治法に基づいた条例整備を行いたいと考えております。資料20ページを御覧ください。旧岩崎家末廣別邸につきましては、「旧岩崎家末廣別邸歴史公園」という名称で本市の都市公園条例の中に歴史公園としての位置づけをするとともに、教育委員会で「富里市歴史公園条例」を新たに制定し、管理等をしていきたいと考えております。今後、4月以降、本条例を施行させていただいた上は、開園時間や開園日、それから、現在のところ入場料はいただいておりますが、そのような詳細は規則で別に定めていきたいと考えております。説明は以上でございます。

【教育長】事務局の説明が終わりました。一般公開の初日には皆様方にお出でいただきありがとうございました。

質疑等がございましたらお願いいたします。

（ない旨の声あり）

【教育長】特にないようですので、本協議については、事務局で調整して進めることにいたします。

【教育長】次に、協議事項（２）富里市教育振興基本計画（令和2年度～令和6年度）について、事務局の説明を求めます。

【教育総務課長】資料は22ページからとなります。協議する内容といたしましては、端的に申し上げますと教育を取り巻く環境が大きく変化してまいりましたので、資料23ページの「施策1-10」を追加しようとするものでございます。新型コロナウイルスの出現に伴い、社会全体が長期間にわたり新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならない状況となりました。飛沫感染や接触機会を低減するため、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い・手指消毒といった基本的な感染対策に加えて、換気、3密の回避、毎朝の体温測定、健康チェックなどを取り入れた新しい生活様式を実践していく必要が生じております。教育現場にも大きな影響を及ぼしました。令和2年3月から臨時休校等により遅れた学びを取り戻すとともに、感染症対策と子供たちの健やかな学びを保障するため、最終学年以外の児童生徒に係る特例的な対応と

して令和3年度又は令和4年度までの教育課程の編成、時間割の工夫、学校行事の重点化などあらゆる手段を用いて協働的な学び合いを実現しつつ、再度、感染者が増加するような場合であっても学びを最大限に確保するため、国においては人的・物的支援がなされております。物的支援策の一つとして、令和5年度までの達成を目指していた1人1台端末の実現が前倒しとなりました。本市では、令和2年度に高速大容量の通信ネットワークを整備し、小学4年生から中学3年生までの児童・生徒に対し配付する端末を購入し、令和3年度の早期には端末を活用した学びを実現してまいります。このように教育を取り巻く大きな変化とICT環境整備の進捗が見込まれますので、富里市教育振興基本計画の5か年計画の期間に変更はございませんが、基本方針1、「確かな学力を育む」を実現する施策として、資料26ページに記載させていただいております1-10、「ICTを活用した学習の推進」を加えることについて、進めてよろしいか協議するものでございます。

【教育長】ただいま事務局から説明がありましたが、質疑等がございましたらお願いいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】本年度からスタートの5か年の教育振興基本計画でございますが、この関係は大変重要なことと考えておりますので、今回、追加をさせていただこうとするところです。

質疑等ございませんでしょうか。

(ない旨の声あり)

【教育長】特にないようですので、本協議については、事務局で調整し進めていくことといたします。

【教育長】次に、協議事項(3)「GIGAスクール構想」に基づいた富里市の教育活動方針について、事務局の説明を求めます。

【参事兼学校教育課長】資料は、28ページのグランドデザインの資料、また別添で、協議事項(3)「GIGAスクール構想」に基づいた富里市の教育活動方針についてという見出しの資料を配らせていただいておりますが、本日はとじ込み資料の28ページを基に説明をさせていただきます。富里市教育委員会では、学びの姿として、教師が児童・生徒に疑問を投げかけたり意見を求めたりすることや、児童・生徒同士が個別に獲得した事実を共有したり、考えを意見交換したりすることを通して、社会の一員として必要な知識やよりよい考え方を身につけることを目標としております。このような学びを一言でいうと、協働的な学びになるかと考えておりますが、来年度から導入を予定しているタブレット端末

は、この協働的な学びをより効果的、効率的に進めるために導入するものでございます。導入に当たっては、今回3つの柱を立ててございます。

3つの柱とは、資料の上にあります指導體制の確立、左下のデジタルコンテンツの効果的活用、右下のICT環境整備の充実でございます。まず、指導體制の確立につきましては、4つの面から充実させることが必要と考えています。1つは児童・生徒の端末活用能力の目標設定、2つ目にICT活用指導力等の向上に向けた研修、3つ目に外部機関や外部人材の活用、情報モラル教育としております。2つ目の柱のデジタルコンテンツの効果的活用につきましては、ソフト面の充実として特にデジタル教科書の活用の促進が大事ではないかと考えていますが、全体としてコンテンツの効果的な活用を目指してまいります。3つ目の柱としてICT環境整備の充実につきましては、端末の導入とネットワーク整備、大型モニター等の周辺機器の整備などハード面の充実を構築させていくことでございます。

これら3つの柱を支えとしまして、しっかりと安定させた上で具体的にどのような授業場面で活用するかを最後に説明させていただきます。グラウンドデザイン上の中心にある「学力向上」の文字に向かって矢印が伸びている箇所を御覧ください。まず、個別最適化された学びということで、イラストにあるように児童・生徒の習熟度に応じた学習として個々がドリル的に学ぶ学習過程での活用が1つ想定されます。また、計算力の向上に向けた練習ですとか、英語の単語や文法を覚える反復練習等をイメージしており、知識、技能の習得を目指します。加えて、ネット環境を活用してさまざまな情報を主体的に収集する情報収集力と必要な情報を取捨選択する判断力の育成を目指してまいります。次のステップとしまして、主体的・対話的で深い学びとして、お互いの考えを表出し合い、それらを比較検討する過程で思考力・表現力を育成していくことや、自分の考えをまとめたテキストなど考えの根拠となる情報を繰り返し確認していくことで、理解を深めるというようなことを想定しております。このような学習過程を構成しながら、タブレット端末を取り巻く人的・物的環境を整えることで学力向上につなげることを方針案として考えております。なお、右上の丸の中に記載してあります臨時休校等緊急時のタブレット端末使用につきましては、学校での活用がまずはメインとなりますが、並行して準備を進めていく予定でございます。説明は以上となります。

【教育長】事務局の説明がありました。質疑等がございましたらお願いをいたします。

先ほど教育総務課長からも話がありましたが、このG I G Aスクール構想の1人1台端末というのは、令和5年度までの事業計画でありましたが、新型コロナウイルスの影響で、今年度に前倒しになったものでございます。本市としましても、それに併せ対応を取らせていただいておりますが、全国一斉のスタートという構想であるものの、やはり市の基本的な考え方をまとめておかななくてはいけないというところでまとめさせていただいております。今回、このような形でお示しさせていただいて、さらに皆様に御意見をいただきながらステップアップした内容にしていきたいと考えております。

質疑などがございましたらお願いします。

(ない旨の声あり)

【教育長】 特によろしいでしょうか。この件に関しましては、また、事務局で調整をしながら、次回この場で、また協議をさせていただければと考えております。よろしいでしょうか。

【委員】 実際にICTを活用してどんな授業が組まれていくというのは、まだ見えてこないというのが実感ですが、やはりICTを日常的に授業の中で活用できるようになるということが最も望ましいことと思うものの、先生方の中には得意な方もいらっしゃるれば不得手の方もいらっしゃると思います。そういうところでここにも掲げられていますが、ICT活用の指導力の向上というのがやはりとても大切になってくると感じています。指導力の差によって子供たちの学習や能力に差が生じてはならないと思います。そうすると、いかに先生方が指導力を向上させていくかということが大切になると思いますし、それぞれの学年で各教科の指導をしていくに当たって、どこでどう活用していくのかななどを計画の中にどんなふうに位置づけていくのか、どのような準備を新年度に向けて各学校で進めていかなければならないのかということを見ると、本当に先生方や学校現場が大変に感じるのですが、やはり導入するからには効果的な活用をしてほしいと考えますので、その準備をお願いしたいと思います。

【参事兼学校教育課長】 委員のおっしゃるとおり、先生方の力量の差によって頻繁に使うクラスとあまり使わないクラスができないように、指導力の向上が大切であると考えます。研修につきましては、小学校の先生方は既に初回の研修を終えまして、この後、年明けに中学校の先生方に同じような研修を行っていただきます。さらにその後、各学校の中心となりそうな情報教育担当の先生に集まっていただいて、3回程程度の端末活用の研修を行う予定でございます。既に小学校で行った研修につきま

しては、こんな場面で使うと効果的ですよというような方法や、教育支援ソフトがありますので、先生が自分の持っている端末で子供たちの端末に情報をこのように出せますとか、こうすれば子供たちのタブレットの情報が受け取れますとか、という基本的な使い方などについて研修を通じて行いました。それらの研修と併せまして、実際にどんな場面どんな授業のときに使っていくのかということも、教育委員会をはじめ各学校で考えていくことになると思います。今のところ、いつでも使えるということではっと浮かぶのは、やはりドリル的な学習で、算数の時間に計算力向上のために、また、特に進度が早くなってしまう子供たちには余った時間をどんどん反復練習などに、タブレットを使うことがなじみやすいかと思います。また、先生方の技術的な向上としては、例えば、理科の実験を行った記録を残しておくために、タブレットのカメラ機能を活用するなど、いろいろな活用方法を各学校で計画を立てて、さらには、市内でその活用方法を共有していくという形を教育委員会が主導して進めていきたいと考えております。

【教育長】よろしいでしょうか。今、授業の中でどのように取り組んでいくのかということは、各学校ともそれぞれ検討段階であると思っております。これまでの先生の一方向的な授業から、タブレットも活用して自分で自主的に学ぶことができるというような、そのようなことも考えております。

その他、ございますでしょうか。

(ない旨の声あり)

【教育長】それでは、先ほども申し上げましたが、よく御覧になっていただいて、新たな御提案などございましたら、また次回の議題として上げさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【教育長】それでは次に、報告事項に入ります。報告事項(1)新型コロナウイルス感染症対策について、事務局の説明を求めます。

【教育総務課長】資料の29、30、31ページをお願いします。令和2年11月20日付けで総務部総務課から「市役所内における検温実施基準、消毒・除菌実施基準、フェイスシールド・マウスシールド使用基準」の3つの基準が定められました。本日の定例会議では、検温実施基準に基づきまして、会議開始前に検温を実施いたしました。御協力いただき、ありがとうございました。

市内における新型コロナウイルス感染者の発生状況でございますが、11月17日の前回定例会議では37例の感染者が確認されていることを御報告いたしました。11月18日から22日までの5日間は連続し

て感染者が発生し、12月21日現在では52例の感染者が確認され、感染者の増加傾向が続いているところでございます。

資料32ページをお願いいたします。12月12日の土曜日には市内小学校の児童1名が感染いたしました。当該児童は無症状で、現在も健康状態に変わりはないと聞いております。学校及び教育委員会の対応といたしましては、12月14日の月曜日を臨時休校とし、翌15日の火曜日は当該クラスを除き通常登校としました。児童、保護者の不安解消のため、当該クラスの児童及び教職員等を対象に市独自のPCR検査を実施したところ、全員陰性との結果を受けましたので、当該クラスは16日の水曜日から通常登校となりました。児童の心のケアに最大限配慮するとともに継続して感染拡大防止に努めてまいります。

12月市議会においては、富里市一般会計補正予算第8号が可決されました。この補正予算には、新型コロナウイルス感染症対応第4弾富里支援パッケージが含まれております。教育委員会関係に係る補正予算は小・中学校トイレの洋式化でございます。子供たちの家庭では和式トイレがほぼないことから、学校では洋式トイレに利用が集中いたします。そのため使用頻度の高い校舎のトイレを洋式化することで、児童生徒の感染症対策、衛生環境の充実を図ってまいります。小学校7校に76か所、中学校3校に44か所、合わせまして120か所の和式トイレを洋式トイレに改修するものです。実施設計委託料367万円及び改修工事5,400万円、合計で5,767万円の補正額となります。本事業の完了は、令和3年4月以降となることを見込んでおります。

資料34ページをお願いいたします。こちらの表の左手側ですが校舎の欄がございまして、富里小学校の便器数①から右に御覧ください。便器数①の総数61に対し、既存洋式数②の32か所に加えて、新設洋式数③の28を改修しますと、洋式数計④、洋式トイレの総数は60となり、新設後洋式率で、校舎のトイレとしては98.4パーセントの洋式率となります。同じ表の左側の校舎の欄、上から6段目、根木名小学校の便器数①から右に御覧をいただきますと、新設後の校舎トイレの洋式率は30.0パーセントとなります。そのまま根木名小学校の欄の一番右を御覧ください。令和2年5月基準の児童数は根木名小学校148人に対し、左の校舎の欄、洋式数計④では、改修後の校舎洋式トイレは総数が15か所となり、洋式トイレ1か所あたりでは約10人となります。一番上の欄、富里小学校では、705人の児童数に対し、左の校舎の欄の洋式数計④では、60か所の洋式トイレとなり、洋式トイレ1か所あたりでは約12人となります。根木名小学校は洋式トイレ1か所に対し

約10人、富里小学校は洋式トイレ1か所に対し約12人ですので、根木名小学校の洋式率は30パーセントですが、富里小学校よりも洋式トイレ1か所あたりの児童数が確保されております。このように校舎トイレの新設後洋式率は学校において異なりますが、トイレの数に対する児童・生徒数等を平準化するよう考慮してございますので、このような洋式化率となりますが、洋式便器1か所当たりの児童・生徒数につきましては、概ね各校とも平準化されます。それでは、表の右下を御覧いただきたいと思っております。節水による効果というところをお願いいたします。整備しようとする機器はタンク方式の節水型を予定しておりまして、約40パーセントの節水効果を見込んでおります。その下の設計・改修工事内容では、工事内容につきましては、和式トイレを洋式トイレに改修いたします。設置位置、扉の付け替え、工法など、工期の短縮と費用について、実施設計業務で検討してまいります。実施設計業務で実施設計が完了した後に、改修工事を発注いたしまして、こちらは令和3年度中の工事となる予定でございます。教育総務課からは以上となります。

【教育長】他に、補足説明等がありましたらお願いします。

(ない旨の声あり)

【教育長】それでは、事務局の説明について、質疑などがございましたらお願いします。

(ない旨の声あり)

【教育長】特にないようですので、報告事項(1)を終わりにします。

【教育長】次に、報告事項(2)令和3年度富里市立幼稚園児数について、事務局の説明を求めます。

【参事兼学校教育課長】資料35ページをお願いします。令和3年度富里市立幼稚園児数につきまして、まず、幼稚園児の願書の受付状況の(1)を御覧ください。浩養幼稚園では、4歳児25名の募集に対して、願書の受付は7名、5歳児については17名に対して1名、富里幼稚園では、4歳児につきましては70名に対して21名、5歳児20名に対して0名でございました。

続きまして(2)、入園児の予定者数でございますが、先ほど申し上げた願書受付数がそのまま入園予定者数となります。この結果、(3)令和3年度富里市立幼稚園児の予定数・学級数でございますが、先ほど申し上げた園児数に応じた学級数となりますので、浩養幼稚園は各1学級として例年と変動はございませんが、富里幼稚園につきましては、これまで2学級を開いておりましたが、4歳児は、21名の入園予定ですので、現状では1学級を開く予定となっております。なお、願書の受付

の期間は既に終了しておりますが、追加の応募受付は継続して行っておりますので、まだ確定数ではございませんが、現状の御報告をさせていただきます。以上でございます。

【教育長】事務局の説明が終わりました。質疑などございましたらお願いをいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】よろしいでしょうか。今後、また動きございましたら御報告させていただきますと考えております。特にないようですので、報告事項(2)を終わりにします。

【教育長】次に、報告事項(3)富里市修学旅行の中止に伴う経費に対する補助金交付要綱について、事務局の説明を求めます。

【参事兼学校教育課長】資料の36、37ページをお願いいたします。新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が実施を予定していた修学旅行を中止した際に必要とする経費につきまして、予算の範囲内において補助金を交付することに関して、必要な事項を定めるものでございます。なお、予算につきまして、12月市議会の補正予算にて要求し、可決されたことから、今後、要綱に基づき補助金の交付を行うものでございます。今年度の小・中学校の修学旅行につきましては、中止によるいわゆるキャンセル料は発生しておりませんが、旅行会社によっては、修学旅行の行程を作成依頼して完成した段階で企画料が発生いたします。そちらについて、富里市の方で負担をして保護者の負担はない形をとるようにしていきます。今、事務処理を行っているところでございます。説明は以上でございます。

【教育長】事務局の説明が終わりました。質疑等などがございましたらお願いをいたします。

【委員】修学旅行で企画料が発生したというのは、何校が対象でしょうか。

【参事兼学校教育課長】中学校は、2泊3日で細かな企画を立てますので中学校は3校でございます。小学校につきましては、7校のうち2校で企画料が発生しています。

【教育長】よろしいでしょうか。その他、御質問等ございますでしょうか。

(ない旨の声あり)

【教育長】他にないようですので、報告事項(3)を終わりにします。

【教育長】次に、報告事項(4)富里市社会教育関係団体の認定の取消しについて、事務局の説明を求めます。

【生涯学習課長】資料の40ページ、41ページをお願いいたします。認定の取消しにつきましては、御覧の3団体から認定取消しの申請がござい

ました。先月に開催されました社会教育委員会議において意見を求めたところでございますが、申請の理由として、会員の減少のため、あるいは会員が高齢のためということですので、こちらの3団体につきまして、認定の取消しをしたいと考えております。説明は以上でございます。

【教育長】事務局の説明が終わりました。質疑などがございましたらお願いをいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】説明にありましたが、会員の減少、あるいは高齢化に伴い活動が困難という理由でございますので、社会教育委員会議でも承認されているというところでございます。特に、この件についてはよろしいでしょうか。

(異議ない旨の声あり)

【教育長】特にないようですので、報告事項(4)を終わりにします。

【教育長】次に、報告事項(5)富里市文化財保存活用地域計画に関するパブリックコメントの実施について、事務局の説明を求めます。

【生涯学習課長】御手元にお配りをしております資料は、富里市文化財保存活用地域計画(概要版)、それからもう1つ、少し厚めの資料になりますが、富里市文化財保存活用地域計画(素案)になります。こちらにつきましては、本計画は、平成28年度より当初は富里市歴史文化基本構想の策定に向けて5か年計画にて作業を行っておりましたが、この策定に関しまして、平成31年4月に文化財保護法が一部改正となりまして、歴史文化基本構想に代わる文化財保存活用地域計画が法的に位置づけられ、国の認定制度となったところでございます。富里市におきましても、市の文化財を適切に保存・活用し、次世代へ継承していくためにも文化財の価値を再認識していただき、行政と市民の皆様、さらには地域と連携を図りながら、周辺環境を一体のものとして保存活用をする必要があると考え、これらを推進していくために本計画を策定することとしたものでございます。計画の概要につきましては、富里の歴史、文化財の概要、歴史・文化の特徴、文化財の保存、活用に関する方針と措置、文化財の保存推進体制が主なものとなっております。計画期間につきましては、各種計画との整合性を図るため、令和3年度から令和13年度までの11か年とさせていただきたいと思っております。なお、作成に当たりましては、富里市文化財保存活用地域計画協議会で検討を行うとともに文化財審議会の意見を伺いながら作業を進め、この度、素案ができましたので、パブリックコメントを実施するものでございます。なお、公表の期間等につきましては、令和2年12月22日の本日から令和3

年1月22日までとし、市ホームページや生涯学習課、日吉台出張所、市民活動サポートセンターで行います。意見書の提出期限は、令和3年1月22日まででございます。このパブリックコメントが終了した後は、必要に応じ修正等を行いまして、文化庁へ申請することとなります。申請後は、文化庁の方で精査、修正を行った上で認定される見込みとなりますが、認定につきましては、令和3年7月頃になる予定でございます。以上、報告させていただきます。

【教育長】事務局から説明がありました。質疑などがございましたらお願いをいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】先ほど事務局から説明がありましたが、法の改正により規定されたものでございますので、進めさせていただきたいと思っております。それでは、報告事項(5)を終わりにします。

【教育長】次に、報告事項(6)令和3年成人式の開催方法について、事務局の説明をお願いします。

【生涯学習課長】資料43ページをお願いします。成人式につきましては、先般、12月10日付けで委員の皆様にご案内を差し上げたところでございます。当初の成人式につきましては、一部制として、3つの中学校区をすべてまとめて開催をするという計画をしておりましたが、新型コロナウイルスの感染が再拡大をしてきましたので、富里中学校区と、富里北中学校区及び富里南中学校区の2つに分けて、二部制で行っていきたいと考えております。なお、新型コロナウイルス感染は、東京都を中心に神奈川・埼玉・千葉県で増加を続けるとともに、先ほど教育総務課長からも説明があったとおり富里市におきましても感染者が発生しているといった状況でございます。生涯学習課としましては、成人式については是非開催をしたいというふうに考えておりますが、この感染状況を踏まえ、現在、いろいろな開催方法を検討しているところでございます。従来お呼びしております来賓の方には大変申し訳ありませんが、お呼びせずに必要最小限の人数による式典の開催、それから、二部制では、一部が終わり次第、館内の消毒をしないわけではいけませんので、きちんと消毒をした後に二部を始められるよう調整をしているところでございます。また、これからの新型コロナウイルスの感染状況によりましては、この年末年始の感染状況等によりましては、この開催が二部制で可能なのか、もしくは開催すること自体が厳しいのかなど、状況を踏まえながら調整をしていく必要があると考えております。開催方法が決定しましたら、

各委員の皆様にご報告をさせていただければと思っております。以上でございます。

【教育長】事務局から説明がありました。質疑などがございましたらお願いをしたいと思いますが、委員の皆様にも御出席の依頼をして、私どもとしても開催したいという思いは非常に強く、成人者のことを考えても開催したいというところがございますが、この感染状況を考えますと、まだいかなものかと判断に迷うところがございます。今後、近隣市町の状況等も勘案しながら決めていきたいというふうに考えております。また状況に変化がございましたら、皆様にお知らせをしていきたいと思っておりますので御了解をいただきたいと思っております。

皆様からの御意見などございましたら、お願いをいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】よろしいでしょうか。繰り返しになりますが、状況に変化がございましたらしっかりとお伝えをしたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。それでは、報告事項(6)を終わりにします。

【教育長】次に、報告事項(7)月例報告について、教育総務課長から順次お願いいたします。

【教育総務課長】資料44ページをお願いします。12月の月例報告は、記載のとおりとなります。1月につきましては、26日に教育委員会定例会議を予定いたします。なお、同日の総合教育会議の予定について、詳細を調整しておりますので、よろしくをお願いいたします。

【参事兼学校教育課長】資料45ページをお願いします。月例報告は、記載のとおりとなります。1月の予定では、5日と6日に教職員の健康診断を実施いたします。こちらは、例年夏季休業中に行っておりましたが、今年度は授業日とした関係で1月に延期になったものがございます。

次に46ページを御覧ください。令和2年度給食費の徴収状況につきまして、11月末現在の徴収率は、97.65パーセント、対前年度同期比の0.43ポイント減となっております。大きく減少した学校もございますが、未納が増えないよう対応してまいりたいと考えております。今月は、先月に引き続き徴収率の向上対策として、現年度の未納分を対象とし、現在、電話催告を実施しているところがございます。また、催告だけでなく新型コロナウイルス感染症の影響による所得の減少などにより納付が困難な方については、就学援助制度についてお知らせするなどの対応を行ってまいります。

次に、47ページをお願いします。第8回校長会議の概要報告でございます。こちらでは、まず、日頃の感染症予防への感謝、それから12

月になりましたので、無事に冬休みを迎えられるよう引き続き気を緩めず対応をしていただくことをお願いをしました。次に、年度末人事異動に向けて、特に人事異動は大事なものでございますので正確な情報のやり取りをするようお願いしました。また、不祥事根絶について、11月25日付けで県教育委員会から出された綱紀肅正の文書を基に、教職員が児童・生徒のメールアドレスを収集したり、私的に使用していないかという確認をしっかりといただくこと、併せて、臨時的任用職員、各学校の講師の皆さんに対して富里市教育委員会で不祥事根絶研修会を実施する旨の説明をさせていただきました。以上でございます。

【学校給食センター所長】資料48ページをお願いします。令和2年11月分の学校給食残菜率につきまして、各小・中学校の残菜率は資料のとおりでございます。小・中学校全体といたしましては、13.99パーセントとなりました。前年同期と比較いたしまして、2.89ポイントの改善となりました。

続けて報告いたします。前回の定例会議の中で、残菜率改善の要因は何かとの御質問をいただきました。こちらに関してアンケートを実施いたしました。その結果でございますが、現在のところ各校において新型コロナウイルス対策を実践中の状況でございますので、要因といたしまして、喫食中の会話を控えていることから、児童・生徒が食事に集中できるようになっているという意見が多数ございました。このことにより残菜率が改善しているものと推測されます。以上でございます。

【生涯学習課長】資料49ページをお願いします。月例報告につきまして、12月6日の日曜日に旧岩崎家末廣別邸の一般公開を始めました。当日は、約650名の方に御来場をいただきました。なお、先ほど委員の皆様から御報告がございましたように、委員の皆様にも御来場いただき、本当にありがとうございました。続きまして、12日の土曜日、令和2年度富里市青少年相談員課題研修会につきましても、委員の皆様にご出席をいただきましてありがとうございました。以下は記載のとおりでございます。

1月の予定につきましては、10日に令和3年成人式を開催する予定ではございますが、内容につきましては、先ほど説明をしたとおりでございます。

次に50ページをお願いいたします。スポーツ振興室に係る月例報告につきましては、記載のとおりでございます。1月の予定では、11日に第34回富里市スポーツ少年団駅伝大会が予定されていましたが、感

染症予防のため中止となっているところがございます。以上でございます。

【図書館長】資料5 1 ページをお願いします。月例報告の主なものでは、1 2月6日に日本大学芸術学部との意見交換会を行いました。こちらは、私と奉仕班の職員2名が出席し、日本大学の方からは講師の先生1名と2年生の学生3名がお越しになりました。こちらでは、10月の後半に日本大学芸術学部の方から図書館への企画として2点ほどプレゼンテーションをいただいております。その際、図書館の運営状況や現地の方を確認していなかったということもありまして、お越しいただいたということになります。この中で企画として挙げられているのが、読書リレーということで、本に帯を巻いて、そこに読んだ人の書評を書いていただき、次につなげていって読書者を増やそうという試みと、もう1つは、読書ソムリエということで、床にフローチャートのようなものを用意し、イエス・ノーでたどっていくと自分の好きな本にたどり着くようなイメージのものを企画する御提案でございます。この内容につきまして、現地を確認していただきながら、図書館の意向も踏まえた上で話し合いをしたという状況になっています。そして、実際の図書館運営の仕方とミックスした形で企画を行っていくと、図書館からの意見を付した形で大学側に戻しているところであり、年明けにブラッシュアップされた企画としてこちらに届けていただく予定となっています。その内容は、固まり次第、教育委員会定例会議等で御報告をさせていただければと考えております。

以下の図書館利用状況や1月の予定については、資料のとおりとなります。以上でございます。

【教育長】事務局から報告がありました。質疑などがございましたらお願いいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】特によろしいでしょうか。それでは、報告事項(7)を終わりにします。

8 その他

【教育長】次に、その他に移ります。その他として、案件などがございましたらお願いします。

(ない旨の声あり)

【教育長】よろしいでしょうか。特にないようですので、その他を終わりにします。

9 閉会宣言

【教育長】 それでは、本日の日程は全部終了しました。令和2年度第11回富里市教育委員会定例会議を閉会します。